

## 11/21 平和への誓いを新たに

## 令和7年度松浦市戦没者追悼式

終戦から80年を迎え、今年度も文化会館ゆめホールで戦没者追悼式が執り行われました。

式には遺族や関係者など約120人が参列。

遺族代表者などが祭壇に献花や献吟、献奏を捧げ、1,176柱の冥福を祈りました。

松浦市連合遺族会の高橋正会長は「戦争の悲惨さや苦難を語り継ぐ人たちも少なくなり、一段と高齢化している。遺族会は、引き続き英靈の慰靈顕彰と遺族の福祉向上に努めていきたい」と平和への誓いを新たにされました。



## 11/23 热戦！バウンドテニス！

## 第7回青のまち松浦大会

本市で開催された「ねんりんピック長崎2016バウンドテニス交流大会」を記念して、松浦市バウンドテニス協会（荒木勝会長）が同大会を文化会館（ふれあいホール）で開催。

福岡県、佐賀県、熊本県を含め、県内各地から10チームと、本市から3チームの計13チーム（80人）が集まり、熱戦を繰り広げました。

## 【優勝】

BTラリー 福賀会D

団体ダブルス 青のまち松浦Cプラス



## 11/18 近隣小中学校の教育のために

## 近江鍛工株式会社（坂口康嗣代表取締役社長）

同社は、御厨小学校、御厨中学校、星鹿小学校、青島小中学校へ寄附金を贈呈しました。

この寄附は、地域教育の振興に役立てほしいと同社長崎工場の近隣にある御厨・星鹿地域の学校へ平成17年から毎年行われており、学校図書の購入費などに活用されています。

この日、長崎工場の太田富穂さんが星鹿小学校を訪れ、代表児童へ寄附金を手渡しました。太田さんは、「たくさんの本を読み、知識や経験を重ね、希望へつながれば嬉しい」と話しました。



## 11/19 小学生による「元寇」学習発表

## 元寇所縁の子どもサミット

ながさきピース文化祭2025事業の一環として、「元寇所縁の子どもサミット」を開催しました。劇団HAGUMIによる歴史演劇に始まり、志佐小学校6年生が「元寇と志佐の歴史」と題した発表を行いました。オンラインでは福岡市立今津小学校、壱岐市立瀬戸小学校、新上五島町立若松中央小学校、宇城市立海東小学校がフィールドワークを踏まえた学習発表を行い、お互いの地域の歴史について学びを深めました。



## 12/7 地域を縦う、巨大しめ縄

## 笛吹神社例大祭

地域住民によって手作りされた大しめ縄が奉納されました。

とても多くの時間がかかる根気のいる作業を、毎年地区の住民が協力しあい、江戸時代から守り続けられている伝統行事です。

この日は、鳥渡・馬伏地区、笛吹・日隠地区の住民30人が稻わらを持ち寄り、長さ約10㍍、重さ約350㌔、太さ最大1㍍の大しめ縄が完成。鳥居横にあるマキの木の間に張り、収穫への感謝と来年の無病息災、五穀豊穫を祈願しました。



## 12/7 人権について考える

## 令和7年度松浦市人権啓発映画上映会

上映会に先立ち、第44回全国中学生人権作文コンテスト長崎県平戸地区大会の入賞者の授賞式と作文発表があり、市では福島中学校2年の川浪魁羅さんが「祖父との関わりを通じて」と題し、自身の経験をもとに、身近な人との関わり方やつながりを通じて、人権や社会への思いを語りました。

その後、トランスジェンダーを題材とした映画「彼らが本気で編むときは、」が上映され、人権について考える一日となりました。



## 11/23 市民体育大会（サッカー）上位結果

第20回松浦市民体育大会のサッカー競技が、志佐小学校で開催されました。

上位結果は次のとおりです。

## ● 5人制フットサル

- ①御厨 SC
- ②リーベンゼーレ志佐
- ③FC.M トレジャー A



## 11/28 子どもたちが地元のトラフグに舌鼓み

## 松浦産トラフグ 学校給食提供

新松浦漁業協同組合（田渕輝明組合長）は、トラフグの地産地消を目指し、11月29日の「いいフグの日」にちなんで11月に、市内全ての小中学校に「トラフグの唐揚げ」を提供しました。

松浦の将来を担う子どもたちに、全国有数の生産量を誇る松浦産のトラフグの魅力を知ってもらいたいとの思いで毎年実施されています。

子どもたちは、漁協職員から育て方などの話を聞いた後、とらふぐの唐揚げの食感に驚きながら、美味しく頂きました。

